

【令和6年度 授業改善推進プラン】

板橋区立 蓮根第二 小学校

○…良い点 ●…課題点

【外国語活動】

■児童の状況	【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】 ●ジェスチャーをつけてコミュニケーションをとることには慣れていない児童も見られる。また、学年が上がるにつれて、外国語を使ったゲームやスピーチなどに消極的な児童が増える。 【外国語への慣れ親しみ】 ●気持ちを表す英語の表現を、表情をつけて相手に伝えることに慣れていない児童も見られる。 ●単語カードが不足しているため、英語と物が結び付いていない児童がいる。 【言語や文化への気付き】 ●外国の文化が身近ではないために日本と外国との共通点や違いを知る機会が少ない。
■指導についての課題	・ALTの勤務時間の関係上、担任との連携（打ち合わせの時間の確保）が十分にとれない。WLP Oの活用も進んでいない。 ・教材開発や作成の時間が十分でない。
■授業革新推進に向けての具体的な方策	・授業だけでなく日常的に英語や外国の文化に関心がもてるような場面を増やす。 ・WLP Oを活用して、ALTと次回の授業について打ち合わせを行う。その際に、授業の流れや、ALTが学習にどのように関わるかを明確にして授業を展開できるようにする。 ・音楽とともに英語を発音し、英語に対する興味関心を高めたり、体を動かしながら英語の音に親しんだりする活動を取り入れる。 ・外国の文化が分かる映像やALTからの話などを取り入れて、異文化への理解を深められるようにする。 ・作成した単語カードは、Lessonごとにファイリングし、次年度に繰り越せるようにする。 ・語彙を増やすために、単語を部類（色・果物など）に分けて繰り返し学習させる。